



がんばっています

佐渡市立新穂中学校

新穂地区は、農業が盛んな地区で「地産地消」に力を入れています。地元のお食糧を好きになることが「郷土愛」にもつながると考えています。数年前から、当校では、知・徳・体のバランスのとれた生徒を育成するため食育に力を入れています。その取り組みの一部をご紹介します。

○「マイ弁当」の日

自ら献立を考え、弁当づくりに挑戦することを通して、栄養のことや地元の食べ物に興味をもたせるようにしています。

やり方

- ①家庭科の時間に栄養教諭を招き、弁当の良さや栄養について指導を受けます。
- ②自分で計画し、自分で作った弁当を年2回持参します。
- ③全生徒と教職員の弁当を写真撮影します。
- ④ランチルームで全生徒、教職員と一緒に弁当を食べます。
- ⑤一人一人がカードに「マイ弁当」の写真を貼り、振り返りを行います。
- ⑥すべてのカードを廊下に掲示します。

⑦生徒による投票と栄養教諭の審査で賞を付けます。



○「ふじの農園」での野菜作り

作業学習として、畑で野菜づくりの活動を行っています。一学期は、なす、キュウリ、トマト、さつまいもなどの夏野菜を育てました。二学期は、大根、かぶ、水菜、ルッコラなどの冬野菜を育てています。育てた野菜は、調理実習に使ったり、「マイ弁当」のおかずに使ったりして食育の学習にも生かしています。



◆佐渡市教育委員会学校教育課
☎23-4898 (両津支所内)

生活情報 さど

マイナンバー制度に便乗した

不審な電話等に注意!

— 口座番号や個人情報等を調査することはありません —

国民生活センターや全国の消費生活センターに、マイナンバー制度に関連して「口座番号を教えてください」「個人情報を調査する」などといった不審な電話等に関する相談が寄せられています。マイナンバー制度に便乗した不審な電話はすぐに切り、来訪があっても断ってください。

相談事例

・行政機関を名乗り、「マイナンバー制度が始まると手続きが面倒になるので、至急振込先の口座番号を教えてください」と電話があった。

・「マイナンバー制度の導入に伴い、個人情報を調査中である」と言って、女性が来訪し資産や保険の契約状況などを聞かれた。

・若い男性から「マイナンバーが順次届いており、みんな手続きをしているが、あなたは手続きをしていないか」との電話があった。「まだ手続きをしていない」と答えると、「早く手続きをしないと刑事問題になるかもしれない」などと言われ、不審に思いすぐに電話を切った。

・「マイナンバー制度が始まると金融

機関に登録されている個人情報に訂正がある場合は取り消さなければならぬ」という電話があった。

アドバイス

◆マイナンバーの通知や利用、個人カードの交付などの手続きで、国の関係省庁や市役所などが、口座番号や所得や資産の情報、家族構成や年金・保険の情報などを聞いたり、お金やキャッシュカードを要求したりすることは一切ありません。

◆万が一、金銭を要求されても決して支払ってはいけません。

◆不審な電話や手紙、訪問には絶対に応じず、まずは消費生活センターや警察に相談しましょう。

お問い合わせ

佐渡市立消費生活センター
(佐和田行政サービスセンター内)
(平日) 午前9時～午後4時
☎57-8143

消費者ホットライン

☎1888 (嫌や!泣き寝入り)